

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
広報広聴課 ☎ 22 - 8112

寺元あいさん



南定一さん・きく江さん夫妻



声援を受けながら懸命にオールを漕ぐ生徒たち



これからもお元気で

8月25日 高齢者訪問

敬老の日を前に市内の方々の長寿を祝おうと、高齢者訪問が行われました。99歳を迎えた寺元あいさん宅（中央1）と、88歳を迎えた南定一さん・きく江さん夫妻宅（栄新町）には、直接河瀬市長が訪問。市長は「ご長寿おめでとうございます。これからも風邪など健康に注意して長生きしてください」とお祝いの言葉を掛け、祝い状や記念品などを手渡しました。



目指せ！水島

8月20日 西浦小中学校いかだレース

西浦小中学校で夏休み恒例の「第17回いかだレース」が行われました。レースには、中学生2チーム・教員1チームの計3チームが出場。いかだは、夏休み中に発砲スチロールと竹を使って作りました。この日は、風が強く厳しいコンディションでしたが、各チームとも、元気よく学校前の海岸を出発。同校の小学生や保護者らの声援を受けながら、約800m先の水島を目指し、懸命にオールを漕ぎました。

全国優勝を果たした道心館のメンバー



稽古に耐え抜き日本一！

8月26日 全国空手道選手権大会優勝報告会

東京で開催された第10回全国空手道選手権大会で、見事優勝を果たした空手道場道心館のメンバーが、市役所で吉田勝教育長に優勝報告を行いました。全国制覇を成し遂げたのは、親子三代で優勝した西井伸策さん（師範）、糸村美夏さん（師範代）、糸村夢那さん（栗野南小5年）を含む小・中学生ら9人。西井さんは、「この中から10年後に国体選手が生まれることを夢見て、これからもみんなで頑張っていきたい」と語りました。

風船を液体窒素に入れる実験に挑戦する子どもたち



科学ってたのしい～！

8月26日 敦賀工業高校生徒が訪問授業

児童に科学への興味をもってもらうと、敦賀工業高校情報ケミカル部の生徒らが子育て総合支援センターを訪れ、楽しい科学の授業を行いました。生徒らは、液体窒素に入れた風船がしぼんでいく実験や、段ボール箱を使った空気砲の実験などを披露。参加した南児童クラブの子どもたちは「どうして」「すごい」など疑問と驚きの声を上げていました。部長の春日野大洋君は「興味を持ってきてうれしい。次は違う実験を見せたい」と話していました。



ムゼウムを訪れたマンスキーさん（上）とフィリベックさん



ムゼウムに感動

8月2・6日 『命のビザ』所持者の家族、元駐日ポーランド参事官が人道の港敦賀ムゼウムに来館

敦賀港に上陸したポーランド孤児やユダヤ人難民の歴史を紹介している「人道の港 敦賀ムゼウム」に思いを寄せる外国の方が、8月2日と6日にそれぞれ訪れました。

2日には、杉原千畝が発給した「命のビザ」で敦賀に上陸したサミュエル・マンスキーさん（米国在住）の長男チャールズさんが来館。父親のビザのコピーや、当時のユダヤ人の写真などをじっくり鑑賞し、「この資料館を作ってくれた敦賀の人たちに感謝する」と話しました。

また、6日には、元駐日ポーランド大使館商務参事官で、ポーランド孤児の救援活動に関心が深いスタニスワフ・フィリベックさんが来館。3年前のパネル展にも訪れているフィリベックさんは、「常設館ができてうれしい。孤児を救った素晴らしい歴史を、もっと多くの人に知ってほしい」と話しました。

聴衆を楽しませながら講演する住田弁護士



地域で支えよう「認知症」

8月8日 認知症介護フォーラム

市医師会主催の「認知症介護フォーラム」があいあいプラザで行われ、約200人が参加しました。フォーラムでは、敦賀温泉病院の玉井顯院長が、認知症の症状や治療法、生活を支援する「認知症サポーター」の重要性を説明。その後、法律情報番組でおなじみの住田裕子弁護士が「行列のできる認知症相談」と題して講演し、「判断力の落ちた認知症患者を狙った犯罪もある。患者を守るためには、地域の目が大切」と話しました。

講演を行う瀬戸内氏



17年ぶりに敦賀で「講義」

8月2日 瀬戸内寂聴氏講演会

作家で文化勲章受章者である瀬戸内寂聴氏の講演会が、敦賀短期大学で行われました。瀬戸内氏は、昭和63年から4年間同大学の第2代学長を務め、今回が約17年ぶりの来学。市民や卒業生ら約400人が集まった会場からは、「お帰りなさい」の声が上がりました。「若き日にバラをつめ」と題し、学長在任中の思い出話や自らの人生観などを、ユーモアを交えながら講演。軽妙な語り口に、会場は笑いであふれていました。